

地 圖

社会の目標等について

【教科の目標】

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

【学年・分野・領域等の目標など】

[地理的分野]

- (1) 日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し理解させ、地理的な見方や考え方の基礎を培い、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う。
- (2) 日本や世界の地域の諸事象を位置や空間的な広がりとかかわり度ととらえ、それを地域の規模に応じて環境条件や人間の営みなどと関連付けて考察し、地域的特色や地域の課題をとらえさせる。
- (3) 大小様々な地域から成り立っている日本や世界の諸地域を比較し関連付けて考察し、それらの地域は相互に関係し合っていることや各地域の特色には地方的特殊性と一般的共通性があること、また、それらは諸条件の変化などに伴って変容していることを理解させる。
- (4) 地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。

[歴史的分野]

- (1) 歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させ、それを通して我が国の文化と伝統の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる。
- (2) 国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させ、尊重する態度を育てる。
- (3) 歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもち、国際協調の精神を養う。
- (4) 身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味・関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。

[公民的分野]

- (1) 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく認識させ、民主主義に関する理解を深めるとともに、国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う。
- (2) 民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動とかかわり及び現代の社会生活などについて、個人と社会とかかわりを中心として理解を深め、現代社会についての見方や考え方の基礎を養うとともに、社会の諸問題に着目させ、自ら考えようとする態度を育てる。
- (3) 国際的な相互依存関係の深まりの中で、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことが重要であることを認識させるとともに、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることが大切であることを自覚させる。
- (4) 現代の社会的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に収集、選択して多面的・多角的に考察し、事実を正確にとらえ、公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。

【参考】

- 社会科、地理歴史科、公民科においては、その課題を踏まえ、小学校、中学校及び高等学校を通じて、社会的事象に関心をもって多面的・多角的に考察し、公正に判断する能力と態度を養い、社会的な見方や考え方を成長させることを一層重視する方向で改善を図る。
- 社会的事象に関する基礎的・基本的な知識、概念や技能を確実に習得させ、それらを活用する力や課題を探究する力を育成する観点から、各学校段階の特質に応じて、習得すべき知識、概念の明確化を図るとともに、コンピュータなども活用しながら、地図や統計など各種の資料から必要な情報を集めて読み取ること、社会的事象の意味、意義を解釈すること、事象の特色や事象間の関連を説明すること、自分の考えを論述することを一層重視する方向で改善を図る。
- 我が国及び世界の成り立ちや地域構成、今日の社会経済システム、様々な伝統や文化、宗教についての理解を通して、我が国の国土や歴史に対する愛情をはぐくみ、日本人としての自覚をもって国際社会で主体的に生きるとともに、持続可能な社会の実現を目指すなど、公共的な事柄に自ら参画していく資質や能力を育成することを重視する方向で改善を図る。

○ 標準授業時数

地理的分野－120単位時間 歴史的分野－130単位時間 公民的分野－100単位時間

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	2・東書	第1・2・3学年	地図・723	新編 新しい社会 地図
取扱内容 各学年の目標、学習指導要領の総則及び各教科、内容等	<p>○ 社会科の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「世界全図」において、中心からの距離や方位が正しい地図と面積が正しい地図を比べたり、日本と世界の国々との時差を調べたりする活動 ・「世界州別図」において、世界の州の境を読み取ったり、南北アメリカ州各国の主な言語について調べたりする活動 ・「世界主要地域詳細図」において、西アジア・環地中海地域のパイプラインの位置を調べたり、アメリカ合衆国の等時帯線を読み取ったりする活動 ・「世界の資料図」において、国際協力機構による環境保全の取組について考えたり、世界の生活・文化を調べたりする活動 ・「日本全図」において、我が国の東西南北端や北方領土・竹島・尖閣諸島の位置を調べたり、我が国の領土や排他的経済水域の範囲を読み取ったりする活動 ・「日本地域別詳細図」において、高速道路網による他地域との結び付きを調べたり、世界遺産のある県を読み取ったりする活動 ・「日本の資料図」において、地理的条件と産業の分布を関連付けて読み取ったり、日本の火山と地震の分布から、災害と向き合う方策を考えたりする活動 <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、巻頭の地図帳の使い方の特集ページにおいて、複数の資料図を結び付けてヨーロッパの自然環境や産業の特色を読み取ったり、EU加盟国が増えた影響をヨーロッパの自動車工場の分布などの資料図と関連付けて考察したりするなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>			
内容の構成・排列・分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の諸地域において、一般図により諸地域を大観する学習の後に、各地域の自然や農業等に関する資料図を、考察する主題や生徒の興味・関心に応じて選択できるような構成し、発展的に学習できるような工夫 ・日本の諸地域において、一般図により諸地域を大観する学習の後に、各地域の自然や産業の様子などを示した資料図を、考察する視点に応じて選択できるような構成し、発展的に学習できるような工夫 <p>○ 内容の分量については、「世界の諸地域」は57ページ、「日本の諸地域」は63ページ、「資料・統計等」は60ページであり、総ページは184ページで、前回より約21%増となっている。(B5判からA B判に変更)</p>			
使用上の配慮等	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の住む市町村の様子を詳しく調べることができるよう、北海道の南部及び北部の地域別詳細図や札幌市中心部の資料図を掲載している。 ・北海道についての興味・関心を高めることができるよう、北海道の地形と自然災害やアイヌ語に由来する地名の資料図を掲載している。 <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連する資料を活用して調べる方法を「ジャンプ」のマークで示している。 ・資料図の読図のポイントや考察の視点を「キャラクター」による吹き出しで示している。 <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末に日本と世界の資料図や196か国及び47都道府県の統計をまとめて掲載している。 ・歴史的分野や公民的分野でも活用できるように、主な歴史の舞台や国際機関への参加国を地図上に示している。 ・全ての生徒が学習しやすいよう、振り仮名をゴシック体にするなど工夫されている。 			

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	46・帝国	第1・2・3学年	地図・724	中学校社会科地図
<p>取扱内容</p> <p>各学年の目標、学習指導要領の総則及び各教科、内容等</p>	<p>○ 社会科の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「世界全図」において、地図と地球儀では大陸の形や大きさが異なることを調べたり、日本と世界の国々との時差を調べたりする活動 ・「世界州別図」において、アフリカ大陸の国境線の特色を読み取ったり、ヨーロッパの位置を同緯度・同縮尺の日本と比較したりする活動 ・「世界主要地域詳細図」において、ライン川とドナウ川を通過する国を調べたり、モスクワから各都市への距離や時間から国土の広さを読み取ったりする活動 ・「世界の資料図」において、東アジア大陸と日本の間にある古代からの結び付きを調べたり、農作物の生産地域と伝統料理の関連を考えたりする活動 ・「日本全図」において、我が国の東西南北端や北方領土・竹島・尖閣諸島の位置を調べたり、我が国の領土や排他的経済水域の範囲を読み取ったりする活動 ・「日本地域別詳細図」において、高速交通網の整備と他地域との結び付きを調べたり、地形の特徴から発達した産業の違いを読み取ったりする活動 ・「日本の資料図」において、農業や工業の分布の特色を読み取ったり、日本の地震と火山の分布から、様々な災害とその対策について調べたりする活動 <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、巻頭の地図帳の使い方の特集ページにおいて、オセアニア州の資料図とグラフを関連付けてオーストラリアの自然や産業の特色を考えたり、北陸3県の特色を自然や人口、産業などの複数の考察の視点からとらえ、白地図を活用してまとめたりするなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。</p>			
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の諸地域において、基本図により諸地域を大観する学習の後に、環境問題や日本との結び付きを示した資料図を、考察する主題や生徒の興味・関心に応じて選択できるような構成し、発展的に学習できるような工夫 ・日本の諸地域において、基本図により諸地域を大観する学習の後に、各地域の自然や産業の様子などを示した資料図を、考察する視点に応じて選択できるような構成し、発展的に学習できるような工夫 <p>○ 内容の分量については、「世界の諸地域」は59ページ、「日本の諸地域」は66ページ、「資料・統計等」は47ページであり、総ページは176ページで、前回より約7%増となっている。</p>			
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の住む市町村の様子を詳しく調べることができるよう、北海道の南部及び北部の地域別詳細図や札幌市中心部の資料図を掲載している。 ・北海道についての興味・関心を高めることができるよう、釧路湿原や開拓の歴史とアイヌ語に由来する地名の資料図を掲載している。 <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図を活用して調べる方法や学習課題を「やってみよう」の囲みで示している。 ・地域の地理的事象を読み取るための着眼点を「地図をみる目」の囲みで示している。 <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末に日本と世界の資料図や196か国及び47都道府県の統計をまとめて掲載している。 ・歴史的分野や公民的分野でも活用できるように、主な歴史地名や国際機関への参加国を地図上に示している。 ・全ての生徒が学習しやすいよう、地名に振り仮名を付すなど工夫されている。 			

<地図の具体的な調査項目>

◎調査研究の対象とした事項

- ① 内容ごとのページ数及び総ページ数
- ② 基本図・一般図の箇所数
- ③ 取り上げている国の数
- ④ 伝統や文化に関する内容を取り上げているページ数
- ⑤ 我が国の領土に関する内容を取り上げているページ数
- ⑥ 自然災害及び防災に関する内容を取り上げているページ数
- ⑦ 地理的分野、歴史的分野、公民的分野の三分野に関連し、現代の社会的事象について取り上げているページ数
- ⑧ 社会的事象の意味、意義を解釈する学習や事象の特色や事象間の関連を説明するなどの学習方法を取り上げているページ数
- ⑨ 北海道とかかわりのある内容を取り上げている箇所数
 - (1) アイヌの人たちの歴史・文化等に関する内容を取り上げている箇所数
 - (2) 道内の市町村等に関する内容を取り上げている箇所数
- ⑩ 自ら進んで学習したり、調べたりするなど主体的な学習を促す内容を取り上げているページ数
- ⑪ 補充的な学習や発展的な学習に関する内容について取り上げているページ数

◎調査対象項目にした理由

- ① 学習指導要領に示された地理的分野の内容を適切に指導することが求められていることから、内容ごとや全体としての分量を把握する必要があるため。
- ② 地図を活用し、地理的技能を育成することが求められていることから、地図の取扱いの状況について把握する必要があるため。
- ③ 世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って世界の諸地域の地域的特色を理解させることが求められていることから、取り上げられている国の取扱いについて把握する必要があるため。
- ④ 伝統や文化の理解を通して、我が国の国土や歴史に対する愛情を育むことが求められていることから、伝統や文化に関する内容の取扱いについて把握する必要があるため。
- ⑤ 北方領土や竹島について、我が国の固有の領土であるが、それぞれ現在ロシア連邦と韓国によって不法に占拠されていることや、尖閣諸島については、我が国の固有の領土であり、解決すべき領有権の問題は存在していないことを理解させることが求められていることから、我が国の領土に関する内容について把握する必要があるため。
- ⑥ 我が国の地形や気候と関連する自然災害と防災への努力を取り上げることで、日本全体の視野から日本の自然環境を大きくとらえることが求められていることから、自然災害及び防災に関する内容について把握する必要があるため。
- ⑦ 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培うことが求められていることから、環境問題など各分野間の有機的な関連を図る必要がある社会的事象の取扱いについて把握する必要があるため。
- ⑧ 基礎的・基本的な知識、概念を活用し、思考力・判断力・表現力等を確実に育むことが求められていることから、社会的事象の意味、意義を解釈する学習や事象の特色や事象間の関連を説明するなどの学習方法の取扱いについて把握する必要があるため。
- ⑨ 生徒が興味・関心をもって学習することができるよう地域の実態などを生かした指導計画を作成することが求められていることから、北海道にかかわる内容等について把握する必要があるため。
- ⑩ 生徒の学ぶ意欲を高め、探究する力を育むことが求められていることから、実生活や実社会と関連付け、主体的な学習を促す学習内容の取扱いについて把握する必要があるため。
- ⑪ 個々の生徒の理解に応じ、きめ細かな指導をすることが求められていることから、補充的な学習や発展的な学習に関する内容の取扱いについて把握する必要があるため。

様式 4

※調査項目の数字が網掛けになっている項目は、別記にデータを掲載していることを示す。

調査項目		発行者		東書	帝国
①	内容ごとのページ数及び総ページ数	世界の諸地域に関する内容	ページ数	57	59
			割合	31%	34%
		日本の諸地域に関する内容	ページ数	63	66
			割合	34%	38%
		資料・統計等	ページ数	60	47
			割合	33%	27%
	総ページ数			184	176
	前回の総ページ数			152	164
増減			21%	7%	
②	基本図・一般図の箇所数			62	62
③	取り上げている国の数			196	196
④	伝統や文化に関する内容を取り上げているページ数			15	10
⑤	我が国の領土に関する内容を取り上げているページ数		北方領土	3	6
			竹島	3	4
			尖閣諸島	2	1
			領土	3	3
⑥	自然災害及び防災に関する内容を取り上げているページ数			6	10
⑦	地理的分野、歴史的な分野、公的的分野の三分野に関連し、現代の社会的な事象について取り上げているページ数			29	30
⑧	社会的な事象の意味、意義を解釈する学習や事象の特色や事象間の関連を説明するなどの学習方法を取り上げているページ数 (※1)			3	4
⑨	北海道とかかわりのある内容を取り上げている箇所数	アイヌの人たちの歴史・文化等に関する内容を取り上げている箇所数		5	5
		道内の市町村等に関する内容を取り上げている箇所数		48	43
⑩	自ら進んで学習したり、調べたりするなど主体的な学習を促す内容を取り上げているページ数 (※2)			53	77
⑪	補足的な学習や発展的な学習に関する内容について取り上げているページ数			0	0

(※1) 調査項目⑧の「社会的な事象の意味、意義を解釈する学習や事象の特色や事象間の関連を説明するなどの学習方法を取り上げているページ数」については、東書は「この地図帳の地図記号・活用方法」、帝国は「この地図帳の記号凡例」、「この地図帳の使い方」、「地域の特色をとらえるポイント」が掲載されているページを対象とした。

(※2) 調査項目⑩の「自ら進んで学習したり、調べたりするなど主体的な学習を促す内容を取り上げているページ数」については、東書は「ジャンプ」、「キャラクターの吹き出し」、帝国は「やってみよう」、「地図を見る目」が掲載されているページを対象とした。

別記1
様式4の調査項目② [基本図・一般図の箇所数] の具体的な内容

東書	1 世界全図	縮尺	図法	ページ
	・①世界全図	縮尺不明	(記載なし)	1-3
	2 世界州別図	縮尺	図法	ページ
	・ユーラシア・オーストラリア・北極圏	1:45,000,000	正積方位図法	19-20
	・ヨーロッパ	1:16,000,000	正距円錐図法	39-40
	・ヨーロッパ・アフリカ	1:35,000,000	正積方位図法	49-50
	・南北アメリカ	1:45,000,000	正積方位図法	55-56
	・南極	1:90,000,000	正距方位図法	56
	・南アメリカ	1:30,000,000	正積方位図法	64
	・オーストラリア・ニュージーランド	1:20,000,000	正積方位図法	69-70
	3 世界主要地域詳細図	縮尺	図法	ページ
	・東アジア	1:16,000,000	正距円錐図法	23-24
	・ホンコン(香港)・マカオ	1:1,000,000	正距円錐図法	23
	・台湾	1:4,000,000	正距円錐図法	24
	・朝鮮半島	1:5,000,000	正距円錐図法	25
	・東南アジア・南アジア	1:25,000,000	正積方位図法	29-30
	・西アジア・環地中海	1:20,000,000	正積円錐図法	33-34
	・イスラエル周辺	1:3,000,000	正距円錐図法	35
	・ヨーロッパ中央	1:9,000,000	正距円錐図法	41-42
	・ロシア連邦	1:22,000,000	正積方位図法	47-48
・環大西洋	1:60,000,000	正積方位図法	54	
・アメリカ合衆国	1:15,000,000	正距円錐図法	57-58	
・ハワイ諸島	1:8,000,000	正距円錐図法	57	
・環太平洋・環インド洋	1:60,000,000	エケルト図法	67-68	
4 日本全図	縮尺	図法	ページ	
・日本全図	1:5,500,000	正角円錐図法	73-74	
・日本の周辺	1:17,000,000	正距方位図法	182-183	
5 日本地域別詳細図	縮尺	図法	ページ	
・小笠原諸島	1:5,500,000	(記載なし)	74	
・南西諸島	1:5,500,000	正角円錐図法	75	
・喜界島	1:1,000,000	(記載なし)	76	
・奄美群島	1:1,000,000	(記載なし)	76	
・奄美群島南部	1:1,000,000	(記載なし)	76	
・伊平屋島、伊是名島	1:1,000,000	(記載なし)	76	
・沖縄島	1:500,000	正角円錐図法	76	
・慶良間列島	1:1,000,000	正角円錐図法	76	
・大東諸島	1:1,000,000	(記載なし)	76	
・宮古列島	1:1,000,000	(記載なし)	76	
・八重山列島	1:1,000,000	(記載なし)	76	
・与那国島	1:1,000,000	(記載なし)	76	
・九州地方	1:1,000,000	正角円錐図法	77-78	
・種子島	1:1,000,000	(記載なし)	78	
・五島列島	1:1,000,000	(記載なし)	78	
・対馬	1:1,000,000	(記載なし)	78	
・屋久島	1:1,000,000	(記載なし)	78	
・福岡県とその周り	1:500,000	正角円錐図法	79-80	
・中国地方	1:1,000,000	正角円錐図法	83-84	
・竹島	1:50,000	(記載なし)	83	
・隠岐諸島	1:1,000,000	(記載なし)	83	
・四国地方	1:1,000,000	正角円錐図法	85-86	
・広島市・岡山市周辺	1:500,000	正角円錐図法	87-88	
・近畿地方	1:1,000,000	正角円錐図法	91-92	
・大阪府とその周り	1:500,000	多面体図法	93-94	

・中部地方	1:1,000,000	正角円錐図法	99-100
・愛知県とその周り	1:500,000	多面体図法	101-102
・新潟県	1:1,000,000	正角円錐図法	103
・新潟市とその周り	1:500,000	正角円錐図法	103
・関東地方	1:1,000,000	正角円錐図法	107-108
・伊豆諸島	1:1,000,000	(記載なし)	108
・東京都とその周り	1:500,000	多面体図法	109-110
・東北地方	1:1,000,000	正角円錐図法	119-121
・仙台市とその周り	1:500,000	正角円錐図法	121
・北海道地方南部	1:1,000,000	正角円錐図法	122-124
・北海道地方北部	1:1,000,000	正角円錐図法	125
・札幌市周辺	1:500,000	正角円錐図法	126
・北海道地方	1:2,000,000	正角円錐図法	127-128
・千島列島	1:7,000,000	(記載なし)	128

帝国	1 世界全図	縮尺	図法	ページ
	・①世界の国々	1:88,000,000	ミラー図法	1-3
	2 世界州別図	縮尺	図法	ページ
	・①アジア州	1:42,000,000	ランベルト正積方位図法	19-20
	・①アフリカ州	1:35,000,000	ランベルト正積方位図法	41-42
	・①ヨーロッパ	1:16,000,000	正距円錐図法	45-46
	・①南北アメリカ	1:45,000,000	ランベルト正積方位図法	57-58
	・②南極	1:90,000,000	正距方位図法	58
	・①南アメリカ	1:30,000,000	ランベルト正積方位図法	66
	・①オーストラリア・ニュージーランド	1:20,000,000	ランベルト正積方位図法	69-70
	3 世界主要地域詳細図	縮尺	図法	ページ
	・①東アジア	1:16,000,000	正距円錐図法	23-24
	・②ホンコン・マカオ	1:1,000,000	正距円錐図法	23
	・③台湾	1:4,000,000	正距円錐図法	24
	・①朝鮮半島	1:3,000,000	正距円錐図法	29-30
	・①東南アジア	1:20,000,000	ランベルト正積方位図法	33-34
	・①南・西・中央アジア	1:20,000,000	ランベルト正角円錐図法	37-38
	・②イスラエル・パレスチナ	1:2,500,000	正距円錐図法	37
	・①ヨーロッパ中央部	1:8,000,000	正距円錐図法	47-48
	・①ロシア連邦とまわりの国々	1:22,000,000	ランベルト正積方位図法	55-56
・③小アンティル諸島	1:20,000,000	(記載なし)	58	
・①アメリカ合衆国	1:16,000,000	正距円錐図法	59-60	
・②ハワイ諸島	1:8,000,000	(記載なし)	59	
・②ツバル	1:400,000	(記載なし)	70	
・③フィジー諸島	1:6,500,000	(記載なし)	70	
・④トンガ	1:1,500,000	(記載なし)	70	
・①大西洋	1:60,000,000	ランベルト正積方位図法	72	
・①太平洋・インド洋	1:60,000,000	エケルト図法	73-74	
・③タヒチ島	1:2,500,000	(記載なし)	74	
・④ラバヌイ島(イースター島)	1:1,000,000	(記載なし)	74	
・⑤ガラパゴス諸島	1:10,000,000	(記載なし)	74	
4 日本全図	縮尺	図法	ページ	
・①日本列島～南西諸島～	1:4,000,000	正角円錐図法	75-77	
・①日本列島	1:4,000,000	正角円錐図法	78-80	
・①日本の位置とまわりの国々	1:16,000,000	正距方位図法	175-176	
5 日本地域別詳細図	縮尺	図法	ページ	
・②南西諸島の周辺	1:25,000,000	(記載なし)	75	
・③尖閣諸島	1:1,000,000	(記載なし)	75	
・④宮古列島	1:1,000,000	(記載なし)	75	
・⑤八重山列島	1:1,000,000	(記載なし)	75	
・⑥大隅諸島	1:1,000,000	(記載なし)	77	
・⑦大島(奄美大島)	1:1,000,000	(記載なし)	77	
・⑧沖縄島	1:500,000	正角円錐図法	77	
・②伊豆諸島・小笠原諸島	1:10,000,000	(記載なし)	80	
・③小笠原諸島	1:4,000,000	(記載なし)	80	
・①九州地方	1:1,000,000	正角円錐図法	81-82	
・②対馬	1:1,000,000	(記載なし)	82	
・③五島列島	1:1,000,000	(記載なし)	82	
・①九州地方北部	1:500,000	多面体図法	83-84	
・①中国地方	1:1,000,000	正角円錐図法	87-88	
・②広島市付近	1:500,000	(記載なし)	87	
・③隠岐諸島	1:1,000,000	(記載なし)	88	
・④竹島	1:1,000,000	(記載なし)	88	
・①四国地方	1:1,000,000	正角円錐図法	89-90	
・②香川県	1:500,000	多面体図法	90	
・①近畿地方	1:1,000,000	正角円錐図法	93-94	
・①大阪府とそのまわり	1:500,000	多面体図法	95-96	
・①中部地方	1:1,000,000	正角円錐図法	105-106	
・①愛知県とそのまわり	1:500,000	正角円錐図法	107-108	
・①新潟県	1:1,000,000	正角円錐図法	114	
・①関東地方	1:1,000,000	正角円錐図法	115-116	
・①東京都とそのまわり	1:500,000	正角円錐図法	117-118	
・①東北地方	1:1,000,000	正角円錐図法	129-131	
・②仙台市とそのまわり	1:500,000	正角円錐図法	131	
・①北海道地方南部	1:1,000,000	正角円錐図法	132-134	
・①北海道地方北部	1:1,000,000	正角円錐図法	135-136	
・①北海道地方	1:2,000,000	正角円錐図法	137-138	

別記2

様式4の調査項目③ [取り上げている国及び国旗の箇所数] の具体的な内容

(※国名は、「統計(①世界の国の人口、文化、経済、日本との貿易)」(P159)の表記による)

東書	国名	国名	国名
	アゼルバイジャン アフガニスタン アラブ首長国連邦 アルメニア イエメン イスラエル イラク イラン インド インドネシア ウズベキスタン オマーン カザフスタン カタール カンボジア キプロス	キルギス クウェート グルジア サウジアラビア シリア シンガポール スリランカ タイ 大韓民国 タジキスタン 中華人民共和国 朝鮮民主主義人民共和国 トルクメニスタン トルコ 日本国 ネパール	バーレーン パキスタン バングラデシュ 東ティモール民主共和国 フィリピン ブータン ブルネイ・ダルサラーム ベトナム マレーシア ミャンマー モルディブ モンゴル ヨルダン ラオス レバノン
	アイスランド アイルランド アルバニア アンドラ イギリス イタリア ウクライナ エストニア オーストリア オランダ ギリシャ クロアチア コソボ サンマリノ スイス	スウェーデン スペイン スロバキア スロベニア セルビア チェコ デンマーク ドイツ ノルウェー バチカン ハンガリー フィンランド フランス ブルガリア ベラルーシ	ベルギー ポーランド ボスニア・ヘルツェゴビナ ポルトガル マケドニア マルタ モナコ モルドバ モンテネグロ ラトビア リトアニア リヒテンシュタイン ルーマニア ルクセンブルク ロシア連邦
	アルジェリア アンゴラ ウガンダ エジプト エチオピア エリトリア ガーナ カーボベルデ ガボン カメルーン ガンビア ギニア ギニアビサウ ケニア コートジボワール コモロ コンゴ共和国 コンゴ民主共和国	サントメ・プリンシペ ザンビア シエラレオネ ジブチ ジンバブエ スーダン スワジランド セーシェル 赤道ギニア セネガル ソマリア タンザニア チャド 中央アフリカ チュニジア トーゴ ナイジェリア ナミビア	ニジェール ブルキナファソ ブルンジ ベナン ボツワナ マダガスカル マラウイ マリ 南アフリカ共和国 南スーダン モザンビーク モーリシャス モーリタニア モロッコ リビア リベリア ルワンダ レソト
	アメリカ合衆国 アンティグア・バーブーダ エルサルバドル カナダ キューバ グアテマラ グレナダ コスタリカ	ジャマイカ セントクリストファー・ネイビス セントビンセントおよびグレナディーン諸島 セントルシア ドミニカ共和国 ドミニカ国 トリニダード・トバゴ ニカラグア	ハイチ パナマ バハマ バルバドス ベリーズ ホンジュラス メキシコ
	アルゼンチン ウルグアイ エクアドル ガイアナ	コロンビア スリナム チリ パラグアイ	ブラジル ベネズエラ ペルー ボリビア
	オーストラリア キリバス クック諸島 サモア ソロモン諸島	ツバル トンガ ナウル ニュージーランド バヌアツ	パプアニューギニア パラオ フィジー マーシャル諸島 ミクロネシア連邦

(※国名は、「世界の国別統計」(P158-160)の表記による)

	国名	国名	国名
帝国	アゼルバイジャン共和国 アフガニスタン・イスラム共和国 アラブ首長国連邦 アルメニア共和国 イエメン共和国 イスラエル国 イラク共和国 イラン・イスラム共和国 インド インドネシア共和国 ウズベキスタン共和国 オマーン国 カザフスタン共和国 カタール国 カンボジア王国 キプロス共和国	キルギス共和国 クウェート国 グルジア サウジアラビア王国 シリア・アラブ共和国 シンガポール共和国 スリランカ民主社会主義共和国 タイ王国 大韓民国 タジキスタン共和国 中華人民共和国 朝鮮民主主義人民共和国 トルクメニスタン トルコ共和国 日本国 ネパール連邦民主共和国	パキスタン・イスラム共和国 バーレーン王国 バングラデシュ人民共和国 東ティモール民主共和国 フィリピン共和国 ブータン王国 ブルネイ・ダルサラーム国 ベトナム社会主義共和国 マレーシア ミャンマー連邦共和国 モルディブ共和国 モンゴル国 ヨルダン・ハシェミット王国 ラオス人民民主共和国 レバノン共和国
	アルジェリア民主人民共和国 アンゴラ共和国 ウガンダ共和国 エジプト・アラブ共和国 エチオピア連邦民主共和国 エリトリア国 ガーナ共和国 カーボベルデ共和国 ガボン共和国 カメルーン共和国 ガンビア共和国 ギニア共和国 ギニアビサウ共和国 ケニア共和国 コートジボワール共和国 コモロ連合 コンゴ共和国 コンゴ民主共和国	サントメ・プリンシペ民主共和国 ザンビア共和国 シエラレオネ共和国 ジブチ共和国 ジンバブエ共和国 スーダン共和国 スワジランド王国 赤道ギニア共和国 セーシェル共和国 セネガル共和国 ソマリア連邦共和国 タンザニア連合共和国 チャド共和国 中央アフリカ共和国 チュニジア共和国 トーゴ共和国 ナイジェリア連邦共和国 ナミビア共和国	ニジェール共和国 ブルキナファソ ブルンジ共和国 ベナン共和国 ボツワナ共和国 マダガスカル共和国 マラウイ共和国 マリ共和国 南アフリカ共和国 南スーダン共和国 モザンビーク共和国 モーリシャス共和国 モーリタニア・イスラム共和国 モロッコ王国 リビア リベリア共和国 ルワンダ共和国 レソト王国
	アイスランド共和国 アイルランド アルバニア共和国 アンドラ公国 イタリア共和国 ウクライナ エストニア共和国 オーストリア共和国 オランダ王国 ギリシャ共和国 グレートブリテン及び北アイルランド連合王国 クロアチア共和国 コソボ共和国 サンマリノ共和国 スイス連邦	スウェーデン王国 スペイン スロバキア共和国 スロベニア共和国 セルビア共和国 チェコ共和国 デンマーク王国 ドイツ連邦共和国 ノルウェー王国 バチカン市国 ハンガリー フィンランド共和国 フランス共和国 ブルガリア共和国 ベラルーシ共和国	ベルギー王国 ボスニア・ヘルツェゴビナ ポーランド共和国 ポルトガル共和国 マケドニア旧ユーゴスラビア共和国 マルタ共和国 モナコ公国 モルドバ共和国 モンテネグロ ラトビア共和国 リトアニア共和国 リヒテンシュタイン公国 ルクセンブルグ大公国 ルーマニア ロシア連邦
	アメリカ合衆国 アンティグア・バーブーダ エルサルバドル共和国 カナダ キューバ共和国 グアテマラ共和国 グレナダ コスタリカ共和国	ジャマイカ セントクリストファー・ネイビス セントビンセント及びグレナディーン諸島 セントルシア ドミニカ共和国 ドミニカ国 トリニダード・トバゴ共和国 ニカラグア共和国	ハイチ共和国 パナマ共和国 バハマ国 バルバドス ベリーズ ホンジュラス共和国 メキシコ合衆国
	アルゼンチン共和国 ウルグアイ東方共和国 エクアドル共和国 ガイアナ共和国	コロンビア共和国 スリナム共和国 チリ共和国 パラグアイ共和国	ブラジル連邦共和国 ベネズエラ・ボリバル共和国 ペルー共和国 ボリビア多民族国
	オーストラリア連邦 キリバス共和国 クック諸島 サモア独立国 ソロモン諸島	ツバル トンガ王国 ナウル共和国 ニュージーランド バヌアツ共和国	パプアニューギニア独立国 パラオ共和国 フィジー共和国 マーシャル諸島共和国 ミクロネシア連邦

別記 3

様式 4 の調査項目④ [伝統や文化に関する内容を取り上げているページ数] の具体的な内容

東書	タイトル	主な内容	ページ	ページ数
東書	・①世界の住居の材料	伝統的な住居	15	1
	・②世界の食文化	伝統的な主食	16	1
	・①世界の宗教	世界の主な宗教	17	1
	・②世界の言語	世界の主な言語	18	1
	・③世界の祭り	世界の伝統的な祭り	22	1
	・④古代・中世の陸上・海上交通	文化の伝来経路、正倉院宝物	27	1
	・④中国の伝統的な食生活	伝統的な食生活の例	44	1
	・②ヨーロッパの食生活と穀物	ドイツのビール、フランスパン ほか	97	1
	・①京都市の主な文化財と観光地	京都市の主な文化財と観光地	98	1
	・②奈良市の主な文化財と観光地	奈良市の主な文化財と観光地	105	1
④京町家	京町家の間取り図	118	1	
・②福井県の地場産業	福井県の伝統工芸品	154	1	
・①東北地方の伝統的な食文化	青森県の郷土料理「せんべい汁」 ほか	155	1	
・①日本各地の郷土料理	伝統的な郷土料理「石狩鍋」 ほか	181	1	
・②日本の方言分布とご当地キャラクター	「シモヤケ」の方言分布			
・①主な世界文化遺産	世界の主な世界文化遺産「富士山-信仰の対象と芸術の源泉-」 ほか			
・小浜市の食文化・伝統工芸	さばのへしこ、若狭塗りばし、うるしだるま			
・①アイヌ語に由来する地名	アイヌ語を由来とする15の地名	130	1	

帝国	タイトル	主な内容	ページ	ページ数
帝国	・世界の生活・文化(1)	①特色ある住居と衣装、②特色ある料理と食事	15-16	2
	・世界の生活・文化(2)	③主食となる作物	17-18	2
	・アジア州の資料図(3)	①さまざまな言語、②さまざまな宗教、	27	1
	・①東アジアと日本	④おもな伝統料理	31-32	2
	・中部地方の資料図(1)	共通してみられる生活・文化	110	1
	・日本の生活・文化	世界遺産 富士山、世界文化遺産 構成資産	155	1
		①伝統的な町なみの保存、②さまざまな郷土料理、③地域による方言のちが		
・①北海道地方	②開拓の歴史とアイヌ語地名	137	1	

別記 4

様式 4 の調査項目⑤ [我が国の領土に関する内容を取り上げているページ数] の具体的な内容

東書	事項	教科書の構成	取扱い	主な内容	ページ	ページ数
東書	北方領土	・(10) 日本の主な島	表	択捉島、国後島、色丹島の所属を北海道として示す	156	1
		・①日本の都道府県の統計表	資料図	面積には、北方領土、竹島を含むことを注釈に示す	163	1
		・日本の周辺	写真	日本の北端は択捉島(北海道薬取村)であり、ロシアに不法に占拠されていることを説明	183	1
	竹島	・竹島	一般図	竹島は島根県として示す	83	1
	・①日本の都道府県の統計表	資料図	面積には、北方領土、竹島を含むことを注釈に示す	163	1(再掲)	
	・日本の周辺	写真	竹島は島根県隠岐の島町に属し、韓国が不法に支配していることを説明	182	1	
尖閣諸島	・南西諸島	一般図	尖閣諸島は石垣市に属していることを示す	75	1	
	・日本の周辺	写真	尖閣諸島は日本が実効支配していることを説明	182	1(再掲)	
領土	・⑩与那国島	一般図	日本の西の端として示す	76	1	
	・日本の周辺	写真	日本の東西南北端を写真で示す(与那国島、南鳥島、沖ノ鳥島、択捉島)	182-183	2(再掲)	

帝国	種類	教科書の構成	取扱い	主な内容	ページ	ページ数
北方領土	①日本列島 ③日本とロシア・ソ連の国境の変遷 ②都道府県の統計 ④日本の東西南北端 ①日本の位置とまわりの国々	①日本列島 ③日本とロシア・ソ連の国境の変遷 ②都道府県の統計 ④日本の東西南北端 ①日本の位置とまわりの国々	写真	国後島の写真を示し、北方領土をロシアが不法に占拠していることを説明	80	1
			資料図	日本とロシア・ソ連との国境の変遷	137-138	2
			統計	北海道の面積には北方領土を、島根県の面積には竹島を含むことを注釈に示す	164	1
			写真・地図 基本図	日本の北端として、択捉島を示す 日本の北端として、択捉島を示す 帰属未定の地域について説明	175 176	1 1
竹島	①日本列島「竹島（島根県）」 ④竹島 ②都道府県の統計 ②都道府県	①日本列島「竹島（島根県）」 ④竹島 ②都道府県の統計 ②都道府県	基本図	竹島の写真を示し、韓国が不法に占拠していることについて説明	78	1
			基本図	竹島が島根県であることを示す	88	1
			統計	北海道の面積には北方領土を、島根県の面積には竹島を含むことを注釈に示す	164	1
			基本図	竹島が島根県であることを示す	174	1 (再掲)
尖閣諸島	①日本列島－南西諸島－、③尖閣諸島	①日本列島－南西諸島－、③尖閣諸島	写真 基本図	尖閣諸島の写真 尖閣諸島を沖縄県として示す	75	1
領土	世界の国々 ①日本の位置とまわりの国々 ④日本の東西南北端 ①日本の位置とまわりの国々	世界の国々 ①日本の位置とまわりの国々 ④日本の東西南北端 ①日本の位置とまわりの国々	基本図	日本の東西南北端	2	1
			基本図 写真・地図 基本図	日本の西端 日本の東端（南鳥島）、西端（与那国島）、南端（沖ノ鳥島）を示す 日本の東端、南端	175 176	1 1 (再掲) 1 (再掲)

※事項欄の「北方領土」は北方領土に関する記述、「竹島」は竹島に関する記述、「尖閣諸島」は尖閣諸島に関する記述、「領土」は我が国の東西南北端に関する記述を対象とした。（北方領土、竹島、尖閣諸島に関する記述と同じ箇所を取り上げた場合は再掲と示した。）

別記5

様式4の調査項目⑥〔自然災害及び防災に関する内容を取り上げているページ数〕の具体的な内容

東書	タイトル	主な内容	ページ	ページ数
	②世界の造山帯と火山、地震	世界の造山帯と火山、地震	7	1
	①台風や土砂災害の被害を受けやすい地域	台風の通過回数が多い地域と土砂災害の被害を受けやすい地域	82	1
	②東北地方の冷害と各県の銘柄米の生産	東北地方の冷害	118	1
	④東日本大震災による被害	宮古市田老地区周辺の被害の様子	135	1
	①火山と地震の分布 ②日本の主な気象災害 ③ハザードマップの例	主な火山と地震の分布 樽前山 ほか 主な気象災害 冷害 ほか 仙台市の津波からの避難の手引き（暫定版）」	136	1
④東日本大震災の地震と津波	東北各地の震度と津波の様子			
	⑤北海道の地形と自然災害	樽前山、北海道南西沖地震 ほか	130	1

帝国	タイトル	主な内容	ページ	ページ数
	②世界の造山帯と地震	世界の造山帯とおもな地震の震源	9	1
	②エルニーニョ現象の発生	1997年のエルニーニョに関連すると考えられる気象の異常	74	1
	②神戸付近のようす－災害へのそなえ－	災害にそなえた学校	93	1
	⑤洪水への備え	濃尾平野の輪中地域	112	1
	③都市型洪水へのそなえ	地下調節池のあるところ	123	1
	③東北地方の冷害と米の品種	平成5年の東北地方の冷害の記録	127	1
	⑦震災からの復興のようす	岩手県宮古市（田老）の復興計画	128	1
	③おもな台風の進路	日本列島を通過するおもな台風の進路	141	1
	日本の災害と防災	日本の地震と火山の分布、東日本大震災の被害、自然災害に対する備え ほか	143-144	2

別記 6

様式 4 の調査項目⑦ [地理的分野、歴史的分野、公的分野の三分野に関連し、現代の社会的事象について取り上げているページ数] の具体的な内容

東書	項目名	社会的事象	主な内容	ページ	ページ数
	<ul style="list-style-type: none"> ①世界の植生と世界自然遺産 ①さまざまな環境問題 ②世界の二酸化炭素排出量 ③日本によるODA（政府開発援助） － JICA（国際協力機構）の環境保全の取り組み－ ⑥中国の国土開発 ⑤アマゾン川流域の開発と熱帯林伐採 ④環境都市を目指す北九州市 ⑤日本の主な公害 ⑥日本の国立公園・ラムサール条約登録湿地・ジオパーク 	環境問題	世界自然遺産 知床 ほか 絶滅のおそれのある種 砂漠化による土地の荒廃 ほか 一人あたりの二酸化炭素排出量 再生可能エネルギー導入への支援 大気汚染でかすむペキン（北京）の市街地 アマゾン川流域の開発と熱帯林伐採 環境都市を目指す北九州市 四大公害 ほか ラムサール条約登録湿地 釧路湿原 ほか	11-12 13 14 28 66 82 136	2 1 1 1 1 1 1
	なし	国際紛争			
	<ul style="list-style-type: none"> ③日本によるODA（政府開発援助） ④主な国の経済協力資金受け入れ額 	国際協力	JICA（国際協力機構）の環境保全の取組 ナイジェリア ほか	14 53	(※再掲) 1
	<ul style="list-style-type: none"> ③日本によるODA（政府開発援助） － JICA（国際協力機構）の環境保全の取り組み－ ③世界と日本のカロリー摂取 ②アメリカ合衆国の農業 ②世界の穀物生産 ③世界の肉類生産 	食糧問題	持続的な農業開発への支援、稲作の増産による貧困削減への支援 世界と日本のカロリー摂取 日本の食料輸入にしめるアメリカ合衆国の割合 米、小麦、とうもろこしの生産 牛、豚の生産	14 16 61 143 144	(※再掲) 1 1 1 1
	<ul style="list-style-type: none"> ②世界の二酸化炭素排出量 ⑦中国の地下資源 ②東南アジア・南アジアの工業 ③鉱産資源の分布と一人あたりのGDP ④ヨーロッパの鉱工業 ③アフリカの鉱工業 ②アメリカ・カナダの工業分布 ④南アメリカの鉱工業 ①オセアニアの鉱工業 ②九州地方の火山と温泉・地熱発電所 ①世界のエネルギー資源の分布と貿易 ②日本の主な資源の輸入先と自給率 ③世界の鉱産資源の分布と貿易 ⑤日本近海のメタンハイドレートの推定埋蔵地 ①人工衛星から見た夜の地球 ②主な国の発電の割合 ③日本の主な火力発電所 ④日本の主な水力発電所 ⑤日本の主な原子力発電所 ⑥再生可能エネルギーを利用した発電の普及 ⑦日本の再生可能エネルギーを利用した発電所の広がり ⑧再生可能エネルギー導入の動き ①日本の輸入 	資源・エネルギー問題	石炭や石油など（化石燃料）の消費量 中国の地下資源 東南アジア・南アジアの工業 石油産出量と埋蔵量 ヨーロッパの鉱工業 アフリカの鉱工業 アメリカ・カナダの工業分布 南アメリカの鉱工業 オセアニアの鉱工業 地熱発電所の位置 エネルギー資源の分布と貿易 主な資源の輸入先と自給率 鉱産資源の分布と貿易 メタンハイドレートの推定埋蔵地 人工衛星から見た夜の地球 主な国の発電の割合 日本の主な火力発電所 日本の主な水力発電所 泊原子力発電所 ほか 再生可能エネルギーを利用した発電の普及 地熱発電所、風力発電所、太陽光発電所 再生可能エネルギー導入の動き 日本の輸入品目	14 28 31 36 44 52 60 65 72 82 139 140 141 142 150	(※再掲) (※再掲) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	なし	人権問題			
	<ul style="list-style-type: none"> ①中国、四国地方の老年人口の割合 ①世界の人口増加率 ④人口ピラミッド ⑥日本の老年人口の割合 ⑦日本の過疎地域 ⑧都市への人口集中 ⑨老年人口の割合と合計特殊出生率 	人口減少問題	65歳以上の人口が50%以上の集落の数と割合 世界の人口増加率 世界3カ国の人口ピラミッドと日本の人口ピラミッド 都道府県別の老年人口の割合 日本の過疎地域 年代別の都市への人口集中 老年人口の割合と合計特殊出生率の推移	90 137 138	1 1 1

※調査項目⑦において(※再掲)としたページは、様式4の⑦の合計に含まれていない。

帝国	項目名	社会的事象	主な内容	ページ	ページ数
	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の環境問題 ・アジア州の資料図（3） ・アジア州の資料図（4） ・アジア州の資料図（5） ・南アメリカ州の資料図 ・②環境のまち北九州市 ・近畿地方の資料図 ・中部地方の資料図（2） ・関東地方の資料図（1） ・東北地方の資料図 ・①北海道地方 ・⑤日本の公害 	環境問題	<ul style="list-style-type: none"> 世界各地で起きている環境問題 中国の大気汚染 スマトラ島の森林の変化 サウジアラビアの砂漠の農地化 アマゾン盆地の森林の減少 北九州市のエコタウン事業 琵琶湖の水利用と透明度の変化 藤前干潟の環境保護 ヒートアイランド現象の広がり 白神山地の自然保護 ラムサール条約登録湿地の釧路湿原 国の認定した公害病発生地ほか 	<ul style="list-style-type: none"> 13-14 28 35 40 68 83 101 112 123 128 138 150 	<ul style="list-style-type: none"> 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	・アフリカ州の資料図	国際紛争	アフリカの言語文化と紛争	44	1
	・なし	国際協力			
	・世界と日本の農業・水産業	食糧問題	日本のおもな食料の自給率の変化、都道府県別農業産出額など	151	1
	<ul style="list-style-type: none"> ・②世界の造山帯と地震 ・世界の環境問題 ・アジア州の資料図（3） ・④東南アジアの鉱工業 ・⑤南アジアの鉱工業 ・③中央アジア・西アジア・北アフリカの産油国 ・⑦アフリカの鉱工業 ・⑤ヨーロッパの電力事情 ・⑥極東ロシアの資源と貿易 ・①アメリカ合衆国・カナダの鉱工業の分布 ・⑤南アメリカの鉱工業 ・④豊かな鉱産資源 ・世界と日本の資源・エネルギー 	資源・エネルギー問題	<ul style="list-style-type: none"> アイスランドの地熱発電所と温水プール アメリカの再生可能エネルギーの活用 アジア州のおもな鉱産資源 東南アジアのおもな鉱産物 南アジアの鉱産物 主な国の原油生産量、西アジア諸国の原油の輸出先など おもな鉱産物、おもな国の日本への輸出 ほか 一人当たりのエネルギー消費量 ロシアと日本の貿易 アメリカ・カナダの鉱産物、シェールガス田の分布 主な鉱産物 オセアニア州の主な鉱産物と日本への輸出 世界のエネルギー資源の分布と移動 おもな国の一人あたりのエネルギー消費量 日本のエネルギー資源の輸入 おもな国の電力源 ほか 	<ul style="list-style-type: none"> 9 14 28 36 40 41 44 53 54 65 68 71 147-148 	<ul style="list-style-type: none"> 1 (※再掲) (※再掲) 1 (※再掲) 1 (※再掲) 1 1 1 (※再掲) 1 2
	・なし	人権問題			
	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア州の資料図（1） ・アジア州の資料図（5） ・近畿地方の資料図 ・関東地方の資料図（1） ・世界と日本の人口 	人口減少問題	<ul style="list-style-type: none"> アジア州の国別人口増加率 南アジアの人口推移 京阪神の人口増加率と通勤・通学者数 東京周辺の人口増加率と通勤・通学者数 世界の人口と人口密度、日本の人口の推移 ほか 	<ul style="list-style-type: none"> 22 39 102 124 145-146 	<ul style="list-style-type: none"> 1 1 1 1 2

※調査項目⑦において(※再掲)と示したページは、様式4の⑦の合計に含まれていない。

別記 7

様式 4 の調査項目⑨ [北海道とかかわりのある内容を取り上げている箇所数] の具体的な内容

東書	(1) アイヌの人たちの歴史・文化等に関する内容を取り上げている箇所数			
	タイトル	取扱い	主な内容	ページ
	・北海道地方南部	一般図	シャクシャインの戦い (位置) アツシ織 (位置)	123 123
	・北海道地方	一般図	シャクシャインの戦い (位置) アツシ織 (位置)	127 127
	・①アイヌ語に由来する地名	資料図	アイヌ語を由来とする 15 の地名	130

東書	(2) 道内の市町村等に関する内容を取り上げている箇所数			
	タイトル	取扱い	主な内容	ページ
	・北海道地方南部	一般図		122-124
	・北海道地方北部	一般図		125
	・札幌市周辺	一般図		126
	・札幌市中心部	一般図		126
	・北海道地方	一般図		127-128
	・千島列島	一般図		128
	・世界の植生と世界自然遺産	写真	世界自然遺産の知床	12
	・①北海道地方の自然環境	資料図	主な山地・山脈・平野 ほか	129
	・②北海道地方の降水量	資料図	北海道地方の 1 月と 7 月の降水量	129
	・③北海道地方の人口密度	資料図	北海道地方の人口密度	129
	・④北海道地方の工業	資料図	市町村の製造品出荷額 ほか	129
	・⑤北海道地方の農業	資料図	市町村の農業生産額 ほか	129
	・①アイヌ語に由来する地名 (再掲)	資料図	アイヌ語を由来とする 15 の地名	130
	・②根釧台地の酪農	資料図	根釧台地の酪農の様子	130
	・③十勝平野の畑作	資料図	十勝平野の畑作の様子	130
	・④北海道に見られるさまざまな気象	資料図	最深積雪 1m 以上の地域 ほか	130
	・⑤北海道の地形と自然災害	資料図	主な火山 樽前山、有珠山 ほか	130
	・⑥北海道の漁業	資料図	釧路、根室 ほか	130
	・①主な火山と海溝	資料図	有珠山	131
	・②川のかたむき	グラフ	石狩川	131
	・③日本の地形	資料図	石狩平野、根釧台地 ほか	132
	・①日本の気候区分	資料図	北海道の気候 (冷帯)	133
	・②日本各地の気温と降水量	グラフ	函館の雨温図	133
	・③日本の気象記録	資料図	最低気温 (1902年 1 月 25 日 旭川市) ほか	133
	・①火山と地震の分布	資料図	樽前山、有珠山 ほか	135
	・⑥日本の国立公園、ラムサール条約登録湿地、ジオパーク	資料図	支笏洞爺国立公園 ほか	136
	・⑤日本の人口分布	資料図	札幌市	138
	・⑤日本の原子力発電所	資料図	泊	141
	・①日本の米の生産量	資料図	北海道 64 万 t (収穫量 1 位の品種 ななつぼし)	145
	・③日本の野菜の生産量	資料図	北海道 1915 億円 (かぼちゃ ほか)	145
	・⑤日本の家畜の飼育頭数	資料図	北海道乳牛およそ 78 万頭 ほか	146
	・⑥日本の木材の生産量	資料図	北海道木材生産量 60 万 m ³ 以上	146
	・⑦日本の水あげ量	資料図	釧路 11 万 t ほか	146
	・③日本の高速道路の発展と交通量 (旅客と貨物)	資料図	札幌を中心とした高速道路の 1 日あたりの交通量	152
	・④日本の主な鉄道の輸送量 (旅客)	資料図	札幌を中心とした特急在来線の運転本数	152
	・⑤日本の主な航空路	資料図	札幌 (新千歳) ほか	152
	・①日本各地の郷土料理	写真	石狩鍋	154
	・②日本の方言分布とご当地キャラクター	写真	キュンちゃん	154
	・(4) 日本の主な湖沼	表	サロマ湖、支笏湖、洞爺湖 ほか	156
	・(6) 日本の主な火山	表	大雪山、幌尻岳、駒ヶ岳	156
	・(8) 日本の主な河川	表	石狩川、十勝川、天塩川	156
	・(10) 日本の主な島	表	北海道、択捉島、国後島、色丹島	156
	・④日本各地の平均気温、平均降水量	表	稚内、釧路、旭川、札幌、函館	158
	・②日本の農水産物の生産	グラフ	北海道 (じゃがいも、小麦 ほか)	164
	・③日本の工業製品の生産	グラフ	北海道 (食品品、パルプ・紙・紙加工品)	164
	・都道府県の産品と名所、お国自慢など	表	最低気温、漁獲量全国 1 位 ほか	180
	・日本の周辺	写真	択捉島 (北海道薬取村)	183
	・②旧国名	資料図	蝦夷	184

帝国	(1) アイヌの人たちの歴史・文化等に関する内容を取り上げている箇所数			
	タイトル	取扱い	主な内容	ページ
	・①東アジアと日本	資料図	蝦夷錦の伝播経路	31
	・①北海道地方南部	基本図	シャクシャインの戦い	133
・②北海道地方の暮らし	資料図	アットウシ織	136	
・①北海道地方	基本図	シャクシャインの戦い	137	
・②開拓の歴史とアイヌ語地名	資料図	アイヌ語に由来する地名	137	

帝国	(2) 道内の市町村等に関する内容を取り上げている箇所数			
	タイトル	取扱い	主な内容	ページ
	・①北海道地方南部	基本図		132-134
	・①北海道地方北部	基本図		135-136
・①北海道地方	基本図		137-138	
・①函館市	資料図	・函館市の地形図	8	
・世界の環境問題	資料図	・おもな世界自然遺産 知床	13	
・②朝鮮半島とのつながり	資料図	・日本との間の旅行者数(旭川・新千歳)	29	
・①東アジアと日本	資料図	・東アジアと直行便で結ばれる空港 (札幌、旭川、釧路)	31	
・①南北アメリカ	基本図	・稚内と同じ緯度	57	
・日本列島	基本図	・知床半島から見た国後島	80	
・日本列島	基本図	・北海道の振興局の名称(釧路、根室)	80	
・②札幌市中心部	基本図	・1:50,000	132	
・③十勝平野の畑作	資料図	・十勝平野の畑作の様子	134	
・④根釧台地の酪農	資料図	・根釧台地の酪農の様子	134	
・③北海道地方の工業	資料図	・市町村別の工業生産	135	
・②北海道地方の自然・産業・暮らし	資料図	・自然・産業・暮らしの様子	136	
・②開拓の歴史とアイヌ語地名(再掲)	資料図	・開拓の進展、鉄道の建設 ほか	137	
・④釧路湿原	資料図	・釧路湿原	138	
・②日本の地形と世界自然遺産	資料図	・知床	140	
・③日本の国立公園とジオパーク	資料図	・支笏洞爺、洞爺湖有珠山 ほか	140	
・①日本の気候区分	資料図	・北海道の気候	141	
・②おもな都市の気温と降水量	グラフ	・札幌市の気温と降水量	141	
・④1年間の降水量	資料図	・年間降水量が最も少ないところ(常呂)	141	
・⑤積雪量	資料図	・雪と寒さに備えた北海道の家	141	
・⑥1月の気温	資料図	・1月の最低気温が最も低いところ(旭川) ほか	142	
・⑦8月の気温	資料図	・8月の平均気温が最も低いところ(根室)	142	
・⑨水力発電・火力発電	資料図	・北海道電力 ほか	148	
・⑩原子力発電	資料図	・北海道電力	148	
・④工業地域の分布	資料図	・苫小牧ほか	150	
・②日本の水産業	資料図	・釧路、根室、紋別 ほか	151	
・③米の生産	資料図	・北海道62.9万t	152	
・④土地利用とおもな農産物の産地	資料図	・たまねぎ、じゃがいも ほか	152	
・⑤野菜の生産	グラフ	・都道府県別農業産出額		
・⑥畜産物の生産	資料図	・北海道1915億円 ほか	152	
・④日本の航空路	資料図	・北海道5417億円 ほか		
・⑤日本の鉄道網	資料図	・新千歳 ほか	154	
・⑥高速道路網の発達	資料図	・青函トンネル1988年開通 ほか	154	
・⑦鉄道の発達による時間距離の変化	資料図	・札幌 ほか	154	
・①伝統的な町なみの保存	資料図	・1964年、2014年	154	
・②様々な郷土料理	資料図	・函館市(港町)	155	
・①昔の国名と国境	資料図	・石狩鍋	155	
・②都道府県	資料図	・蝦夷	174	
・④日本の東西南北端	資料図	・北海道の総合振興局、振興局	174	
・①日本の位置とまわりの国々	基本図	・日本の北端一択捉島(写真・地図)	175	
		・根室の日の出、日の入り	176	